

私たちの活動や意見を平和委員会の仲間たちに伝えます
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

土浦平和の会

ニュースNo. 260 2013年10月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL、FAX 831-9122

<http://heiwatutiura.web.fc2.com/>

土浦平和の会 2013 平和の旅のご案内

日程：11月7日（木）～8日（金）

目的地：アウシュビッツ平和博物館・原発災害情報センター（白河市）他

参加費：18000円（バス代、ホテル代、第2日の昼食を含む）

主な行程：

11/7 土浦市民会館 7:30 出発～千代田庁舎 7:50 出発～アウシュビッツ平和博物館（原発災害情報センター並置）～鶴ヶ城等会津若松市内見学～東山グランドホテル

11/8 ホテル～裏磐梯・五色沼散策～猪苗代湖（昼食）～湯ノ岳パノラマライン（平和観音像・慰霊碑・民主先駆の碑）～千代田庁舎 17:00～土浦市民会館 17:20

その他：

☆初日の昼食は各自でご用意ください。

☆アウシュビッツ平和博物館（500円）、鶴ヶ城天守閣（500円）等の入場料は各自負担となります。ご了承ください。

参加ご希望の方はお早めにお申し込みください（定員29名：最終10月20日）。

秋の平和宣伝行動を行いました

10月4日 土浦市内

10月5日 かすみがうら市内

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和の仲間へ伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスをご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会の仲間たちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

シリーズ 私の体験 (7)

長崎原爆の前と後 (3)

黒川 博

(前号まで：原爆で母、弟、二人の妹が死んだ。家は焼け、小さな小屋に疎開した・・・)

「10月、文部省派遣の調査団が原爆の中心地を測定し、廃墟の中に壊れた径30cm程のスレート管に爆心 Center」と縦書きした即製の標識を立てた。その後暫らくして3mぐらいの木製の原爆中心地の標となり、周りが整備され原爆公園として今の黒御影の三角の標となった。わが家から120m、防空壕からも同じぐらいの所だった。従って、私の妹(三女)は世界一、爆心地に近いところで生き残った人間となった。今年、68年ぶりにそのことが話題となり、修学旅行生や一般団体に原爆被害を案内している平和案内人が紙芝居を作り、8月に「爆心地の奇跡—防空壕に救われて 黒川幸子さん」として披露され、その様子がNHKで放映された。

その妹は大腿骨が折れ、全身傷だらけで、近くに医者も薬もなく、父がどこからか手に入れてきた薬の素人療法ではなかなか治らず、秋になって父の故郷、熊本県天草に連れてゆき、3か月ほどで元気になって戻ってきた。

70年は草木も生えぬといわれた被爆地に秋になると草木は芽吹き、虫も見られるようになって、その後、一年足らずのうちに旧知の人3軒が寄り添うように元の家の近くに家を建てた。本格的な建物ではなかったが、これまでの小屋よりずっと広く、何よりも電気水道のあるのが有難かった。300軒1800人が住んでいた町に3軒で暫くはさびしかったが周りが広々としているので食糧不足を補うため、さつま芋や野菜づくりをやった。放射能の怖さはわかっていたが土壌についてはほとんど頭になかった。お腹を満たすのに精いっぱいだった。そして生活が落ちついていった中で、3年後に次姉が逝き、7年後に父が逝った。姉21歳、父53歳だった。明らかに原爆が原因だと思っているが、当時は何も言わなかった。というより言えなかった。原爆小頭症や障害児誕生の話は耳にしていたが、新聞には殆ど出なかった。原爆の身体に対する影響は大したことはないというGHQの報道規制があったからである。しかし、口には出せないが被爆者は大きなハンデを背負って生きてきた。頭髪が抜け、歯茎からの出血や下痢で亡くなる人、怪我ややけどもなく生き延びた人たちの中から何の前触れの無く亡くなる人も少なくなかった。疎開した子供たちが原爆がうつるといじめられた話も耳にした。特に女性の結婚問題は深刻であった。好きあった彼の家族に被爆者ということで結婚を反対されたり、結婚した後でも離婚された人もあったと聞いた。女性自身、出産の折、障害児でなければいいがという願いとも祈りともいう気持ちを持ったようである。3人の子持ちとなった妹は何十年たった今でもそうつぶやくことがある。

(完)

この「シリーズ私の体験」欄に、読者の方の体験談をぜひ投稿してください。

活動ごよみ

9/24 霞ヶ浦の歴史散歩	10/15 へいわの会理事会
10/4 平和の会街頭宣伝 (土浦市内)	11/7-8 平和の旅 (福島)
10/5 平和の会街頭宣伝 (かすみがうら市内)	

平和の会ニュース、平和かわら版 (PDF版) 配信しています

平和の仲間伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは 029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方は eMail アドレスをご連絡ください